

# 北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」

## 共同公開収録 in 北秋田激励メッセージ

北秋田市民文化会館

北朝鮮に拉致されている日本の皆様、私は、秋田県北秋田市長の津谷永光です。

本日は、拉致問題解決にむけた北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」と「しおかぜ」の共同公開収録を北秋田市民文化会館からお届けしています。

秋田県内でも、特定失踪者の方が5名いらっしゃいますが、拉致されたご本人やその家族の方々の長年に渡る心の痛みは、察するに余りありますし、北朝鮮の非人道的な行為である拉致は、国民の生命と安全を脅かす極めて重大な人権侵害であり、許すことができない犯罪です。

これまで、北秋田市では、拉致被害者の情報提供の呼びかけや、拉致問題に関連した映画の上映会、拉致問題啓発演劇を開催するなど、市民の皆様にも、拉致問題への理解を深めていただく取り組みを継続して行ってきました。

また、私は、平成22年10月にも、ラジオ番組「しおかぜ」に出演し、北秋田市の旧合川町出身松橋恵美子さんをはじめとする拉致被害者の皆様に向けて「決してあきらめることなく、ふるさとに帰ってくる日を待っていてください。日本は、必ず皆様を連れ戻します。」というメッセージを送らせていただきました。

松橋恵美子さん、ラジオは聞こえていますか。

ふるさとは、ずいぶん変わりましたよ。

鷹巣町に、空港ができて、今では、東京まで1時間ほどで行けるようになりました。高速道路のインターチェンジもできました。

しかしながら、当時と変わらないものもあります。

森吉山は、今も雄大です。秋田内陸線も、元気に走り続けています。

そして、あなたの帰る日を待ち望むふるさとの人々の心も、決して変わりません。

私は、海の向こうで助けを待っている日本の方々が、愛する家族の元に帰ってくる日まで、「拉致は決して許さない」という強い決意で、これからも支援していくことを、お誓い申し上げまして、激励のメッセージとします。

共にがんばりましょう。

令和元年6月30日

北秋田市長 津谷永光